



Title	俳句
Author(s)	白井, 文溪
Citation	懐徳. 1939, 17, p. 53-54
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/89034
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

俳句

爽秋

入江來布

一塵一劫草のそよきにけさの秋
けさの秋大都のそらと仰きつゝ
ダムをうつす空に水にやけさの秋
夕涼み草にひそめる蟲をしも
鯛の誘ふてゐるに青嵐
大陸の蒼々として天高し
天高し亞細亞を興す輝きに

雑詠

白井文溪

蟲鳴東圃蟬叫西園

打水の庭のほてりに端居して

閑門耿耿寂帳忡忡

轉たるみ兒等は寢入りて宵くらみ

時迎牧子乍送田翁

曉の星に青田の風をゆく

楚臣嗚咽舜婦含悲

訪れの身過ぎ話や風仙花

堂友會見學五句

澤北斗

話もし柿もかぢりつ大原道(三千院)

顎あげて鹿の子蹤き來る竹柏林(奈良)

前垂の赤き女や牡丹園(長谷寺)

千體の御佛くらき梅雨入かな(三十三間堂)

光秀の墓のうしろの小萩かな(高野山)